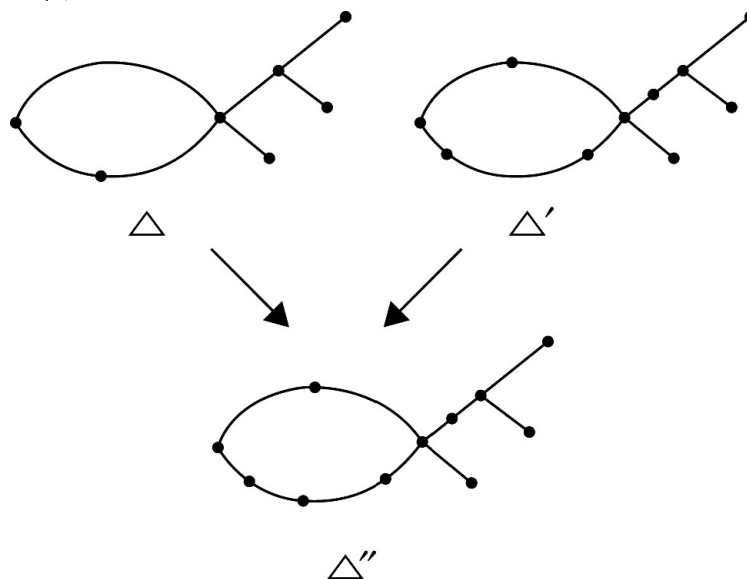


『不変量とはなにか』 正誤表

■ 「誤」 → 「正」 ※表示されている図はすべて訂正済みのものです。

・ p.20 図 1.3 の下の絵： $\tilde{\Delta} \rightarrow \Delta''$

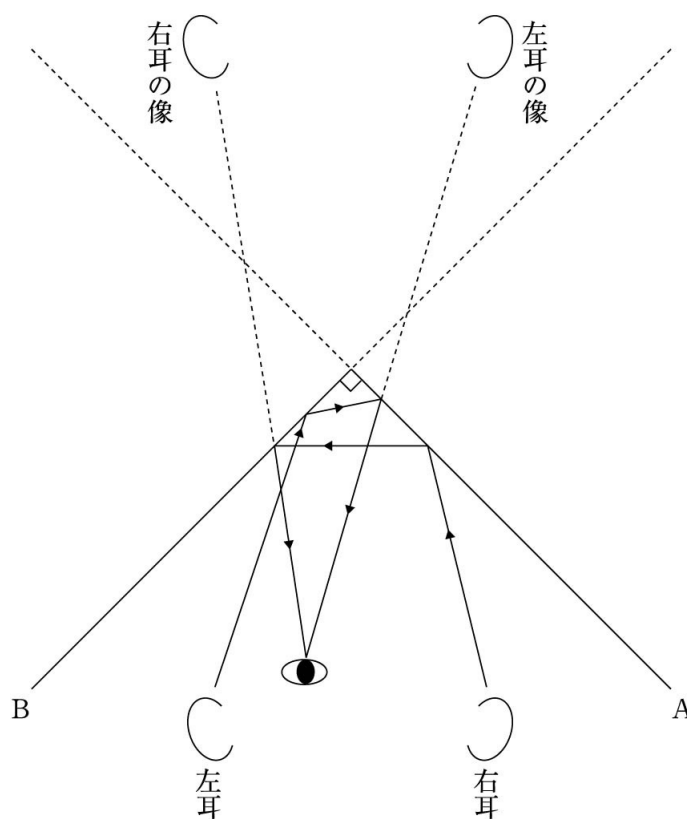


・ p.59 5行目：第5章 → 第6章

・ p.68 図 2.13：K.F. ガウス → C.F. ガウス

・ p.108 図 4.23 中の文字：「左耳の像」 → 「右耳の像」

「右耳の像」 → 「左耳の像」

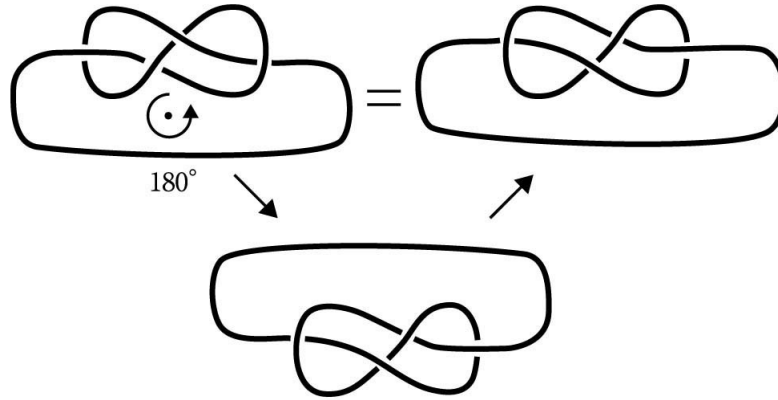


• p.124 式 4.39 : $\{(x, y, z, w) \mid x > y > z > w\}$

$\rightarrow \{(x, y, z, w) \mid x > y > w > z\}$

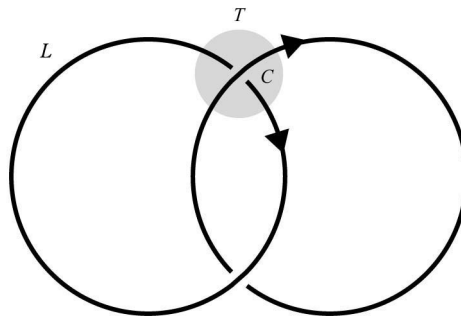
• p.179 図 5.9 : 左上の結び目の絵の左から 2 番目の交点の上下関係が逆。

170 ページの図 5.1 (b) と同じ結び目が正しい。



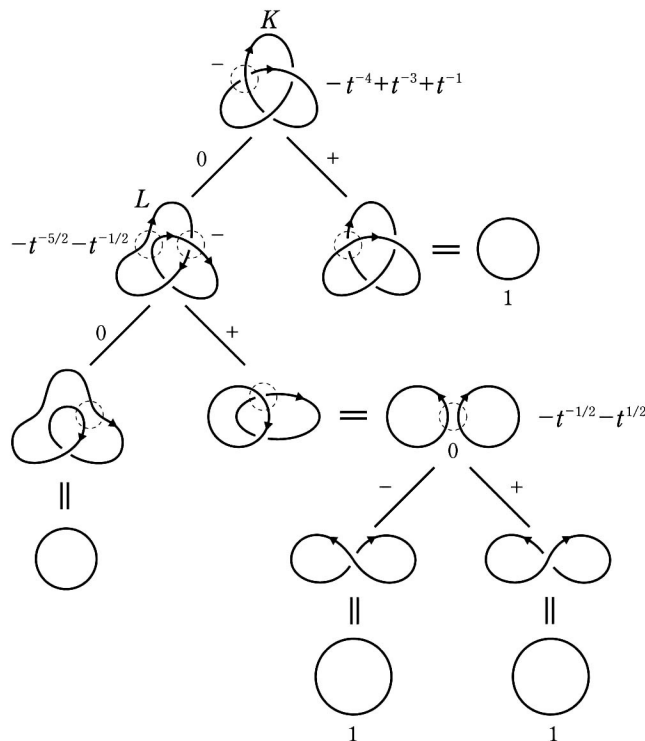
• p.182 図 5.11 : 矢印 2 つの向きと、交点 2 つにおける上下関係を全て逆にする。

すると、-交点 2 つのホップリンクになり、185 ページの図 5.14 に出てくるホップリンクと整合する。



• p.185 図 5.14 上から 2 段目の一番左のリンクのジョーンズ多項式 :

$$t^{-1/2} - t^{5/2} \rightarrow -t^{-5/2} - t^{-1/2}$$



- p.185 下から 3 行目：「+交点 3 つ」 → 「-交点 3 つ」
- p.186 下から 13 行目：「図」 → 「図 5.11」
- p.186 下から 12 行目：「 L の交点は 2 つとも +交」 → 「 L の交点は 2 つとも -交」
- p.186 下から 11 行目：「 L は L_+ となり、 L_- は」 → 「 L は L_- となり、 L_+ は」
- p.186 下から 8 行目： $t^{-1} V_L(t) - t V_0(t) = (t^{1/2} - t^{-1/2}) V_{00}(t)$

$$\rightarrow t^{-1} V_{00}(t) - t V_L(t) = (t^{1/2} - t^{-1/2}) V_0(t)$$

- p.186 下から 6 行目右辺： $-t^{5/2} - t^{1/2} \rightarrow -t^{-5/2} - t^{-1/2}$
- p.186 下から 3 行目： $K_1 \rightarrow K_+$
- p.186 下から 2 行目：「先の +交点 2 つの」 → 「先の -交点 2 つの」
- p.187 上から 4 行目：「-交点 3 つの」 → 「+交点 3 つの」
- p.201 10 行目：(バル = ナタン教授はイスラエルからカナダの大学に移られた。
それに伴う新しいホームページアドレスは以下の通り)

<http://www.math.toronto.edu/~drorbn/People/Eldar/thesis/default.htm>

- p.226 図 7.10： e の肩の分数の分母で 3 となっているものはすべて 6 とする (6 カ所ある)。

また上部 $i = e^{\pi i} \rightarrow i = e^{\frac{3\pi i}{6}}$ (即ち $e^{\frac{\pi i}{2}}$)

